課題代表者名：

課題申込書（1）本文

1. これまでの研究・背景
2. 研究の目的・意義
3. 研究の学際性・資源利用の必要性
4. 研究計画
5. 共同研究の推進にあたって構成拠点において研究グループや研究者の協力が必要な項目

6. 人権の保護及び法令等への遵守の対応
7. その他

8. 本研究に関連して最近発表した成果のうち主なもの

- （例）P. Researcher, J. S. Bach, R. Center, W. Mozart, “Computer Simulation of Classical Music”, IEEE Access, vol. 4, Apr. 2025, pp. 101-200.

資源量積算根拠と利用目的

※以下の 3 行のうち、該当する 1 行を残し、該当しない行を削除してください（募集要項 9.2 節参照）

資源量積算根拠の記載範囲【ア】: 利用目的のみ記載し、積算根拠は記載しない

資源量積算根拠の記載範囲【イ】: 利用目的と利用予定のすべての資源の積算根拠を記載

資源量積算根拠の記載範囲【ウ】: 利用目的と利用予定の HPCI 資源についての積算根拠を記載

計算資源名（提供拠点名）:

利用目的:

積算根拠: